※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究３年 文科	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「古典探究　古文編」「古典探究　漢文編」　（三省堂）						
副教材等	高校生の古典文法、体系漢文等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・第３学年では、基礎的な文法事項や知識を基に、より高度な文章を読み取る力を養っていきましょう。また、正確な読解に基づき、作品世界の深部に迫る読みを心がけていきましょう。
・教科書の他に様々な古典作品に触れる努力をし、より一層語彙を増やし、先人が積み重ねてきた知識の体系を自身の力で読み解き、文章のおもしろさや現代との文化の違いを味わう力を培いましょう。
・日本文化の土台である古典作品から人間の普遍的な感情や知恵を学ぶことで、自身の人生や物事の考え方においてより広い視点をもつことを期待しています。
・第３学年はこれまで学習した文法・単語を総合的に用いる読解力を完成させますが、それは能動的な学習によって培われます。予習として本文を真剣に読み込み、下調べをしてきてください。

２　学習の到達目標

（１）これまで学んできた古典文法、漢文句法、語彙の確認をし、それらを用いて作品を正確に読み取る力を養う。（知識及び技能）
（２）多くの作品に触れ、それぞれの作品世界を鑑賞する。（思考力・判断力・表現力）
（３）伝統的な言語文化に対する興味関心を深め、人生をより豊かにする態度を育てることを通じて、古典文化を尊重しその魅力を発信できるようになる。（学びに向かう力・人間性等）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	作者のものの見方や感じ方また教養などについて理解する。 ［教材］　『枕草子』「二月つごもりごろに」「大納言参りたまひて」	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：進んで敬語についての理解を深め，平安時代の後宮生活について自らの考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 ［教材］『史記』「刎頸の交はり」「風蕭蕭として易水寒し」	a：古典を読むのに必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c：本文の内容を的確に捉え、 人物の心情を読み取り、人物像についてまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	登場人物の言動や心情を的確にとらえ、人物造型を把握する。 ［教材］『源氏物語』「心づくしの秋」「女三宮の降嫁」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。 c：積極的に作り物語を多面的・多角的な視点から読み、今までの学習を生かして、作品についての理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	先人のものの見方、感じ方、考え方から、新たなものの見方、考え方を養う。 ［教材］『孟子』「性猶湍水也」『荀子』「青取之於藍、而青於藍」『老子』「天下莫柔弱於水」『荘子』「夢為蝴蝶」	a：古典を読むのに必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c：文章内容からそれぞれの考え方を積極的に読み取り、その違いについて理解するとともに、今までの学習を生かして各テーマに対する自分自身の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	評論に表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえて、思考を深める。 ［教材］『無名抄』「深草の里」	a：古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：進んで理想とする和歌の条件について述べた文章にふれ、和歌表現の特徴について理解を深め、表現の効果について自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	日記における和歌を用いた表現の特色について理解する。 『蜻蛉日記』「うつろひたる菊」「鷹を放つ」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		c：日記に興味をもち、和歌をめぐる文章の構成や表現の特色について理解を深めようとしている。			
2	作者の境遇についての認識を深め、心情を読み取る。 ［教材］『和泉式部日記』「夢よりもはかなき世の中を」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c：積極的に表現に注意しながら日記を読み、今までの学習を生かして、作品の特色を多面的・多角的に理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	筆者の主張を的確に捉え、ものの見方、考え方を豊かにする。 ［教材］『唐宋八家文読本』「師説」	a：先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分の考え方を豊かにする読書の意義について理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりしている。 c：唐宋八大家の経歴や作品を積極的に調べ、先人のものの見方と自分のものの見方について考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート定期考査 ノート	ワークシート
	俳諧や和歌を多面的・多角的な視点から捉え、言語文化についての理解を深める。 ［教材］『正徹物語』「一字の違ひ」『去来抄』「行く春を」	a：言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に俳文や歌論に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取り、今までの学習を生かして、自分の考えを広げようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	「三国志」の世界が、時代やジャンルを超えて受容されてきた意義について考えるとともに、登場人物の心情を読み取る。 『三国志演技』「桃園結義」『三国志』「三往乃見」	a：古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国などの外国文化との関係について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c：進んで我が国の文化の特質や他文化との関係について理解を深め、関心を持った事柄に関連する古典の作品を知り考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
3	歴史物語を通して、 出来事の背景を理解し、登場人物の行動と心情を読み取る。 ［教材］『大鏡』「道真と時平」	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景を理解しながら歴史物語を読み、出来事を物語化することの意味について自分の考えを深めている。 c：積極的に設定や表現の特色を踏まえながら、歴史物語の内容を的確に捉え、今までの学習を生かして、登場人物の心情を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	詩に描かれた情景や心情を読み取るとともに、内容の解釈をふまえて朗読することで、詩をより深く鑑賞する。 ［教材］『詩経』「桃夭」『唐詩三百首』「兵車行」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c：積極的に漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み味わい、今までの学習を生かして、詩の発想の豊かさや、表現のおもしろさを理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	評論に表現された筆者の考え方を読み取り、筆者の主張が現代において持つ意義について考える。	a：先人のものの見方、感じ方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義について理解を深めている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］『風姿花伝』「下手は上手の手本」『玉勝間』「師の説になづまざること」	b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ考えを深めている。 c：進んで先人のものの見方、感じ方、考え方を知り、古典を読む意義について理解を深めたうえで、自分の考えを説明しようとしている。			

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　１３５　）時間